

# JAみなみ魚沼 自己改革工程表

「農業者の所得増大」に向けた取り組み		年次別工程				
		現状	初年度(H31年度)	2年目(H32年度)	3年目(H33年度)	
項目	1	<b>販売品販売高</b> <b>(農畜産物全品目の合計額)</b> 成果目標：78億円	◎平成30年度実績見込：73.2億円 19.5億円(しおざわ管内)、53.7億円(魚沼みなみ管内) マーケット・イン(市場を意識し、消費者の需要に応じた生産と販売)が求められている。また、スケールメリットを生かした南魚沼産ブランド(園芸品目含む)の魅力発信と新規取引先や輸出等の新たなマーケットの開拓が課題である。	◎目標：76億円 21.2億円(しおざわ管内) 54.7億円(魚沼みなみ管内)	◎目標：77億円	◎目標：78億円
	2	<b>主食用米(コシヒカリ)の独自販売比率</b> 成果目標：91%	◎平成30年度実績見込：91% 79%(しおざわ管内)、97%(魚沼みなみ管内) 需要に基づく戦略的な販売拡大と農産物検査法の遵守や品質管理の信頼性確保が求められている。	◎目標：91% 77%(しおざわ管内) 97%(魚沼みなみ管内)	◎目標：91%	◎目標：91%
	3	<b>精米販売量</b> 成果目標：46,000俵	◎平成30年度実績見込：41,000俵 9,000俵(しおざわ管内)、32,000俵(魚沼みなみ管内) 産地間競争が激化する中、更なる営業活動強化に加え、最新の精米施設と南魚沼産ブランドの付加価値をフル活用した商品アイテムの開発による「南魚沼産ブランド」の商品価値の追求が求められる。	◎目標：43,000俵 10,000俵(しおざわ管内) 33,000俵(魚沼みなみ管内)	◎目標：44,500俵	◎目標：46,000俵
	4	<b>園芸品目等販売高</b> <b>(青果物・菌茸類・畜産品・その他)</b> 成果目標：26.6億円	◎平成30年度実績見込：26.3億円 3.3億円(しおざわ管内)、23.0億円(魚沼みなみ管内) 南魚沼ブランドの確立による適切な販売先の選定、市場動向を把握した販売方法など販売力強化と園芸品目の新規導入支援が求められる。また、集荷対策の強化と新たな品目のブランド化も販売高増加のポイントとなる。	◎目標：26.9億円 3.5億円(しおざわ管内) 23.4億円(魚沼みなみ管内)	◎目標：26.5億円	◎目標：26.6億円
	5	<b>農畜産物直売所 売上高</b> <b>「四季味わい館」「あぐりばーく八色」</b> 成果目標：5.8億円	◎平成30年度実績見込：4.7億円 2.9億円(四季味わい館)、1.8億円(あぐりばーく八色) 両直売所の連携による、生産者の顔が見える新鮮で安全・安心な農畜産物の魅力発信と各種イベントを通じた地域の魅力発信を展開する。また、野菜最盛期の売り場面積の確保と冬期間対策の研究・検討をしなければならない。	◎目標：5.3億円 3.4億円(四季味わい館) 1.9億円(あぐりばーく八色)	◎目標：5.5億円	◎目標：5.8億円
「農業生産の拡大」に向けた取り組み		年次別工程				
		現状	初年度(H31年度)	2年目(H32年度)	3年目(H33年度)	
項目	1	<b>米集荷量</b> 成果目標：242,000俵	◎平成30年度実績見込：208,046俵 67,723俵(しおざわ管内)、140,323俵(魚沼みなみ管内) 市場競争力とブランド力の強化、生産者手取り最大化には、JAへの集荷結集に取り組む必要がある。そのためには、需要のある安定したカントリー米、品質管理のできる倉庫、気象変動に左右されない指導等の充実が必要である。	◎目標：238,000俵 75,000俵(しおざわ管内) 163,000俵(魚沼みなみ管内)	◎目標：240,000俵	◎目標：242,000俵
	2	<b>カントリーエレベーター稼働率</b> 成果目標：76%	◎平成30年度実績見込：68% 64%(しおざわ管内)、70%(魚沼みなみ管内) 安定・高品質なカントリー米は卸業者からの需要がある。また、高品質米の集荷・販売のため、適期収穫による品質安定化に向け、担い手を中心とする大口生産者への利用メリットの発信と利用拡大が求められる。	◎目標：72% 65%(しおざわ管内) 75%(魚沼みなみ管内)	◎目標：74%	◎目標：76%
	3	<b>主食用コシヒカリ1等米比率</b> <b>(カントリー・個袋合計)</b> 成果目標：95%	◎平成30年度実績見込：77% 77%(しおざわ管内)、77%(魚沼みなみ管内) 魚沼米憲章の実践と関係機関等と連携した生産指導に取り組み、高品質・良食味な南魚沼米産地を確立する。そのため、地区別土壌分析による基本となる土づくり・使用肥料の提案・密苗移植等の新技術に向け、情報収集・現地試験に取り組む必要がある。	◎目標：95% 95%(しおざわ管内) 95%(魚沼みなみ管内)	◎目標：95%	◎目標：95%
	4	<b>園芸品目作付面積(露地野菜)</b> 成果目標：109ha	◎平成30年度実績見込：104ha 2ha(しおざわ管内)、102ha(魚沼みなみ管内) 水稲、園芸の効率的な栽培体系を確立し、農地フル活用を図り重点園芸品目の生産拡大と新規導入促進に向けた生産対策が求められる。また、生産者負担を軽減するため、育苗・集荷等の共同利用施設の取得を検討し、園芸産地拡大に取り組む必要がある。	◎目標：105ha 2ha(しおざわ管内) 103ha(魚沼みなみ管内)	◎目標：107ha	◎目標：109ha
	5	<b>農畜産物直売所 出荷者数</b> <b>「四季味わい館」「あぐりばーく八色」</b> 成果目標：500名	◎平成30年度実績見込：440名 170名(四季味わい館)、270名(あぐりばーく八色) 今後出荷者のリタイアが想定されるが、園芸品目の生産者拡大と生産者手取りの最大化に向け、地域の多様な農業者・新規就農者・定年帰農者等幅広く出荷契約者の確保に取り組む必要がある。	◎目標：460名 180名(四季味わい館) 280名(あぐりばーく八色)	◎目標：480名	◎目標：500名